

行政調査報告書「市民文教常任委員会」

令和4年7月13日～15日

■一般社団法人多摩スポーツクラブ（東京都立川市） 『アリーナ立川立飛について』

アリーナ立川立飛は、民間が建設した体育館であり、一般社団法人多摩スポーツクラブが管理運営をしている。また、このスポーツクラブが運営するプロバスケットボールチームのホームアリーナとなっている。利用者の要求に極力対応する柔軟性を持った経営により、稼働率を上げている。

三河安城に建設予定のアリーナにおいては、民間ならではの柔軟性を妨げることなく支援し、多くの人がエリア全体へ回遊することを期待する。



■東京都町田市 『南町田グランベリーパークについて』



町田市と東急の2者が、商業施設と都市公園を一体で整備した。公園は、指定管理者が管理運営を行っている。公園主催で「つまパーク大作戦」が開催され、近隣で様々な活動をしている方々が参加・出展し、地域の魅力とまちの賑わいを発信するとともに、地域のゆるやかな交流を育んでいる。

本市のアンフォーレでは、まちなかの交流・賑わい創出に取り組んでいるが、市民や活動団体等のプレイヤーの発掘や育成が大きな課題だと思われる。

■新潟県長岡市 『アオーレ長岡について』

JR長岡駅からスカイデッキで直結した、アリーナ、市役所、市民交流施設からなる複合施設である。市役所の総合窓口は、日本一のサービスを目指している。複数の手続きをまとめて受け付けできるワンストップサービスを提供し、土・日・祝日も窓口対応を行っている。

お客様の目線に立ったサービスを実現するためとはいえ、窓口職員の増員や、休日勤務のためのローテーションなど市にも負担の大きな改革だと感じた。

